

第2回 瀬戸内研究シンポジウム



定着型産業の育成と
地域社会の持続性の課題
―農業を事例として―

2023年

1/18

15:00
17:00

オンライン開催 / 参加無料

申込方法 URLかQRコードよりお申し込みください。
<https://forms.gle/qyvtCLxp6JMNy3b6>



グローバル化が進展することによって地域社会は従来を越えて他の地域社会と密着・関係づらくなるのが前提となり、人、モノ、カネ、情報およびそれらを取り巻く空間の移動性が極めて高くなった。その一方、在来の慣習や文化、産業・活動する地域も絶えてきている。従って既存の1対1の少子高齢化が、地域社会の持続の課題を孕んでいる。都市型産業の生産者・一人労働・経営者等が活躍することは可能性はあるが、課題はいつまでも地域に暮らす人びとを巻き込んでいく。それに対して地域社会の持続性や発展を促進・強化し、それを地域社会の再生の礎とするのが課題解決の唯一のソリューションとして考えられる。今回は定着型産業として農業を選び、また地域社会として農村社会を対象として、定着型産業の育成と地域社会の持続性の課題について、農業関係者、地方自治体職員等がテーマとして議論する。



農業を活用した地域活性化の可能性
―労働人口の増加に向けて―
北田 久 岡山大学 グローバル人材育成院 准教授



企業との連携によるコミュニティ・エネルギーの形成
―島根県内の小水力発電を事例に―
本田 穂子 岡山大学 環境生命科学学域 准教授

ファシリテーター：津野 貴之 岡山大学 社会文化科学学域 文明論学研究所 教授

岡山大学 文明論学研究所
JST 1/18 瀬戸内研究シンポジウム
地域農村経済学センター 主催

岡山大学 文明論学研究所 (RIOC)
〒700-8530 岡山県岡山市東区津島 3-1-1 TEL: 086-251-7843
RIOC E-mail: rioc@okayama-u.ac.jp URL: rioc.okayama-u.ac.jp

086-251-7442

086-251-8463
